



# 「一期一会」

## ～高校生伝統文化事業 茶道体験～

10月16日から3週間にわたり6グループに分かれて茶道体験を実施しました。茶道部の活動が活発な本校ですが、校内の茶会にも参加したことがない生徒が多く、茶道部外部講師の増田妙子先生の御指導のもと、お茶の文化について学び、茶室では慣れない正座に苦労しながらの貴重な体験となりました。

躰り口から茶室へ入るのも初めての経験でしたが、お辞儀の仕方・畳の歩き方・お菓子やお茶のいただき方など大人になってからも礼儀として知っておきたいことを学ぶ機会となりました。

### 生徒の感想

- ① 今まで茶道を見たことも体験したこともなかったから、今回の体験はすごく新鮮だった。部屋に上がるときに躰り口から入るんだと知って、そしてその経緯も聞いて、本当に工夫されているなあと感じた。またお辞儀の仕方も教えてもらって、微妙な違いで印象も変わってくるということを感じた。茶道の相手を思いやるどころや、丁寧で繊細なところが好きだなあと感じた。
- ② 日本の風情を感じられる奥深い文化で、学ぶ楽しさが詰まっていると思ったし、相手に対するおもてなしの心や礼儀正しさなどは、日常生活や仕事をする上でも大切なことだと感じたので、日ごろから忘れずにしていきたいと思った。
- ③ 正しい作法などを知って、実際に動いてみて、「慣れない動きだけど、できるようになるのは楽しい。」と思えました。掛け軸やお花を吟味し、さらにお菓子やお茶を味わい、「和」というものに触れられた気がします。
- ④ お茶を通じて、人としてのマナーや礼儀も学べて良かったです。社会人になる私には、マナーや礼儀はこれから先、大切にしなければいけないことと思うので。
- ⑤ 初めはとても面倒なことだと思っていた。しかしお茶室に入るととても興味がわいてきて、終わった時にはとても穏やかな気持ちになった。隣の人に「お先に」という言葉がけをするのはとても大事なことだと思った。

